

非正規労働者の分会結成し、切実要求を実現

全印総連・大日本印刷分会

私たちは2018年に「大日本印刷分会」を結成し、大日本印刷久喜工場（埼玉県久喜市）で非正規労働者の組織として要求実現と組織拡大を進めています。交渉開始から有給を回復させ、3000人の非正規労働者に適用させました。また、無期転換制度の活用で有資格者の無期転換を実現、2020年から定期昇給制度を勝ち取っています。いまでは組合員も順調に増加しています。



労働者にピラを配布する組合員

分会結成までのたたかいは、会社が2013年に「週3日労働」に契約変更、翌14年には20日付与の有給休暇を1日に9日間も削減、職場では不満が噴出しました。非正規労働者の有給は賃金を補てんするもので、一人平均81000円の賃下げでした。

全印総連と大日本印刷との交渉で「仕事が減ったから」と会社は回答。出勤日数は年間200日以上で、労基法違反の一方的賃下げが明らかでした。

2度の交渉で「来年は週4日の契約にして有給は20日付与する」との回答を引き出し、この成果をピラとして配布、組合に入ろうと呼びかけました。

当時、同工場の子会社D NPファインで橋場さんの解雇争議があり、久喜駅でのピラ宣伝を一緒に行っていただきました。

さらに工場内最低時給が9200円で、10000円にする目標を立て、秋年末・春闘と要求書を提出し続けました。17年に労働者が組合に加入すると、会社は非正規労働者全員に「要求・要望・不満はありますか」と個人面談を実施するなど、組合加入を阻止する行動に出ました。

一方、組合は「来年は無期雇用になるので雇止めは法律違反」と運動し、工場内で一人の雇止めもなく対象の組合員2名が申し込むことが出来ました。

18年に「大日本印刷分会」を結成し、春闘アングレトに基づき交渉した結果、18年20日付の賃上げがあり工場最低賃金は9600円になり、橋場争議も和解が成立しました。

19年に労働者が新たに組合に加入すると、会社が個別に呼び出して「組合加入の動機」を聞くなど不当労働行為が発覚しました。分会は団交で抗議文を提出し、呼び出しを辞めさせ自主解決できました。

一方、最低賃金は上げたものの10000円を超えていた非正規労働者は過去8年間も賃上げがなく、「社員との格差是正に逆行している」と団交で追及。

19年も2度40円上がり、最低賃金は10000円になりました。

分会は正規社員との格差・差別解消に向け、「社員就業規則」や「正規社員手当の支給状況」の開示を要求しましたが、会社は拒否しました。

20年には、非正規労働者の定期昇給、一時金支給基準の可視化を勝ち取り、非正規労働者にもれなく賃上げがありました。

しかも「会社全体の非正規労働者に同一基準で適用、子会社も準ずる」を団交で確認。現在は大日本印刷の全国事業所でも同一ピラ宣伝を行い、組織拡大を訴えています。

相談活動から組織化へ 300人の仲間と支え合って / 地域労組こうとう



和気あいあい、ワンコイン交流会の様子 (9/2)

地域労組こうとうは9月26日の第12回定期大会を組合員300人で迎えることができました。

様々な困難を抱え組合に加入し仲間と共に支え合ってきたその困難を乗り越えてきた組合員の皆さんに心より感謝します。また、日頃より地域労組こうとうの運動にご支援・ご協力いただいている関係団体の皆さんに重ねて感謝申し上げます。

地域労組こうとうは個人

加齢労働の必要性が急速に高まる中で、江東区労連内の検討委員会で具体化し、2009年に31人で結成しました。

相談活動をおこなっている上で「体制作り」は非常に大きな課題でした。「相談は必ず複数人で対応する」、「できるだけスピーディーに対応する」ために江東区労連末組織対策委員会の応援を受けながら体制強化を図ってきました。

また、結成当初から労働相談が解決した組合員や争議を抱えている組合員の交流の場としてワンコイン組合員交流会の実施や、ハガキニュースの発送等を行っています。

近年寄せられる労働相談は年々複雑化し、適切な対応には相談員が様々な経験から学ぶことや労働問題の専門機関との連携強化も重要と考えています。

拡大月間(11・12月)の皮切りは、各ブロック未組織ターミナル宣伝です。

11月2日(月)に、西部(代々木駅、三多摩(立川北部(後楽園駅)、南部(田町駅)が実施しました。70人が参加しました。

宣伝では、「休業」には「休業手当」を支払わなければならない(「身勝手な解雇は許されません」と労働者の実態を交えて権利を訴え、あなたも労働組合へと呼びかけました。のべ



訴えをする西部ブロックの仲間たち (11/2代々木駅)

2020年 学習の友 12月号

特集 **新自由主義にたちむかう**

アメリカの労働運動の現状と課題 布施恵輔 (全労連国際局)
 コロナ危機と欧州労連のとらきみ 筒井晴彦 (労教協理事)

生活まもる春闘を——現場からの生活レポート
 埼玉(非正規雇用)/東京(保育士)/静岡(労働組合員)/福岡(建設業)

「しかたがない」から、みんなで「変える」へ
 一元氣にたたかう21春闘のポイント 仲野智 (全労連常任幹事)

ジェンダー・ギャップ指数121位の日本 舟橋初恵 (全労連女性部長)

コロナ禍と新自由主義を克服する新政権を 柳重雄 (弁護士)

労働者教育協会 編 定価 510円 (消費税10%含む)
 お申し込みは 学習の友社 TEL03-5842-5641 tomo@gakusyu.gr.jp

また、「名簿は見えない」のに任命したり、「総合的・俯瞰的な活動を確保する観点から判断した」と説明にならない説明をし、「多様性が大事だ」「特定の大学に偏りが見られる」と発言しています。しかし、女性候補や私学の教授など、

菅首相は、学術会議のあり方に論点をすり替えようとしています。

また、「名簿は見えない」のに任命したり、「総合的・俯瞰的な活動を確保する観点から判断した」と説明にならない説明をし、「多様性が大事だ」「特定の大学に偏りが見られる」と発言しています。しかし、女性候補や私学の教授など、

三たび「軍事研究反対」決議を挙げた学術会議と「学問の自由」への抑圧にも広げようとしているのです。

国会の論戦を見ても、「モリ・カケ」「桜を観る会」への追及の答弁と同じように、まともな議論を拒否しているのは菅首相であることは明白です。

今回の任命拒否問題は、学術や教育関係者だけの問題ではありません。表現を生業とする映画監督、芸術・著作に関わる多くの個人などが抗議の声を上げています。それは日々深まっている日本の民主主義の危機を象徴している出来事であり、歴史の転換点にさせなければならないからです。

多様な配慮した推薦名簿から、「安保法制」や「特定機密保護法」について反対を表明した候補者の任命を拒否しているのだから、「自己主張に抗う者は認めない」、国会にも諮らず法解釈を変更するという、菅内閣の政治姿勢を内外に示したものにほかなりません。

これまでも、政治主導の名の下に、内閣人事局で官僚人事を操り、その手法を

10月1日、日本学術会議の第25期新会員候補105人のうち6人が、菅義偉首相から任命されませんでした。東京都立大学労働組合は、10月7日に「日本学術会議新会員候補6名の任命拒否に抗議し、その撤回を求め」中央執行委員会声明を発表しました。

菅首相は、学術会議のあり方に論点をすり替えようとしています。

また、「名簿は見えない」のに任命したり、「総合的・俯瞰的な活動を確保する観点から判断した」と説明にならない説明をし、「多様性が大事だ」「特定の大学に偏りが見られる」と発言しています。しかし、女性候補や私学の教授など、

- 米田徳治さん、書記長に 事務局長に佐藤大地さん
 谷口利男さん (東京土建)
- 中野区労連第29回定期大会
 八王子労連第31回定期大会
- 10月20日、中野区産業振興センターで開催。議長に池田吉成さん(都教組中野)、事務局長に牧野大志さん(東京民医労健友会支部)。
- 目黒区労連第28回定期大会
 10月28日、清瀬ケヤキホールで開催。議長に小野塚洋行さん(CU東京三多摩清瀬東久留米)、事務局長に石垣雅之さん(年金者組合清瀬)。
- 東村山地区労連第62回定期大会
 10月28日、東村山市民センターで開催。共同議長に長田昭さん(地区協)、飛田重雄さん(東京土建)、山崎秋雄さん(年金者組合)、事務局長に余田郁雄さん(年金者組合)。
- 田安夫さん(都教組)、

秋の組織拡大月間 がスタート